

Gikai-plus かしわ

かしわ市議会だより

令和元年第3回定例会号

No.  令和元年(2019) 11月1日発行

- 9月定例会の議案をピックアップ ▶ P.2
- 質疑並びに一般質問 ▶ P.3
- 各委員会の構成が決定 ▶ P.7
- 新正副議長を選出など ▶ P.8



「議会プラスかしわ」は、「見やすく・わかりやすく・読みやすく」という3つをプラスしたいという思いを込めたロゴマークです。

森林環境譲与税基金設置 公共施設に国産木材活用 市内森林整備等へ

市議会議員選挙後初の議会が開会され、条例の制定に関する議案などがさまざまな論点で審議されました。ここでは、今定例会で新設された「森林環境譲与税基金」について取り上げます。



(写真はイメージ)

可決 森林環境譲与税基金条例を制定

森林整備やその促進に要する経費の財源として、国から森林環境譲与税が市町村及び都道府県に譲与されることを受け、本市では譲与税(今年度は約1,650万円)を積み立てるために、森林環境譲与税基金を設置しました。



なぜ森林環境譲与税が創設されたの？



パリ協定の枠組みのもとで、我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や、災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、創設されました。

森林環境譲与税は、森林整備(間伐など)やそれらにかかわる人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に関する費用に充てることと、国により用途が定められています。

今定例会での主な質疑

本会議

Q 森林環境譲与税の使い道について、間伐材を使い、森林の保全と市民の啓発につなげる観点から、学校や公共施設内でウッドチップを有効活用し、地域の森林保全をしていく「木づかい運動」を本市で展開することについて、どのように考えているか。

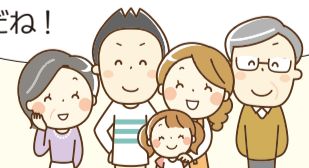
A 現時点の例では、公共施設の整備における国産木材の利用や森林の保全等を行う団体への支援、人材育成が考えられている。学校や公園に間伐材を使ったウッドチップ、里山環境整備等も含めて、さまざまな視点から有効な用途について検討していく。

建設経済委員会

Q 森林環境譲与税の使い方については、さまざまな市民の意見を聞いて決めるべきではないか。

A 今後は、庁内の関係部署の調整を行い、さまざまな意見を反映して決めることができるような仕組みづくりを検討していきたい。

いろいろな使い方がありそうだね！



柏市議会 9月定例会の 流れ

9月9日 開会

本会議

選挙により正副議長を選出、各委員会正副委員長を互選(7・8面参照)。市長から市政報告の後、副市長から議案についての提案説明

9月13日~24日

本会議

22人が登壇し、議案及び市政に関する質疑並びに一般質問(3~6面参照)

9月25日・26日

委員会

総務・市民環境・教育民生・建設経済の4常任委員会にて議案や請願を審査

9月30日 閉会

本会議

各委員長から審査の経過と結果の報告後、討論を経て、採決(議決結果は2面参照)